1 文字式の導入

文字とは?

数学では「分からない数」や「変わる数」を使うことが多い そんな数を a や x などの**文字**を使って表す!

どうして文字を使うの?

例 1

チョコ 1 個 120 円で、ガムは 1 個 80 円です。 チョコを 1 個、ガムを 3 個買うと、合計で何円になるでしょうか? $120\times 1+80\times 3=120+240=360$ なので、合計で 360 円になる。

こんな感じに、文字を使うと、式が作れるようになるから便利だね!

例 2

チョコを 1 個、ガムを何個か買いました。ガムの個数が分からないけど、何とか式であらわしたいガムの個数が分からないので、ガムの個数を a としてみる。 a 個ガムを買ったとすると、合計金額は、 $120\times1+80\times a=120+80\times a$ (円) となる。

あとでガムを 5 個買ったわかったとき、金額を計算することもできる! ガムの個数を a としていたから、a を 5 にすると、合計金額は $120\times 1 + 80\times a = 120\times 1 + 80\times 5 = 120 + 400 = 520$ 円となる。 こんな感じで、式を作っておくと、a を変えるだけで、すぐに合計金額が計算できる!

文字を使った式には、書き方や計算のルールがあるので、それを今後勉強していこう!

2 文字式の書き方のルール

- 文字の前に数字を
- 文字はアルファベット順
- 文字の前の1は省略
- π の位置

3 文字式の積

- 文字の前の数字をかける
- 文字はアルファベット順にならべる
- 同じ文字は指数を使って表す

4 文字式の商

- 数字をわる (分数なら逆数かけ)、後ろの文字は分母に
- 分数にして、数字の部分を約分する
- 分母と分子に同じ文字があったら、なくす
- 分数を整理して、完成 (マイナス符号、分母の1に注意)

5 文字式と単位、数量の表し方

- 文字と単位を区別したい
- 単位には、() をつける
- 例 a (kg), d (m)
- 代金、速さ、平均
- 整数の表し方、偶数と奇数

6 文字への代入、式の値

- 文字と数字の間には、× がある。
- 文字のところを数字にかえて、計算
- 負の数は、()をつけて代入する

7 文字式の計算、式の加減

• 加減:()をはずして、同じ文字の前の数字をたす

● 3つの÷や×は、順番にやろう!

● 分配法則:数字と()が並ぶ

 $3(2a+4) = 3 \times 2a + 3 \times 4 = 6a + 12$

8 関係を表す式

- 等式、不等式で表す
- 以上、以下、未満、より大きいを記号で表す

方程式

9 方程式の性質

- 両辺に加減乗除してもよい
- 左右をいれかてもよい
- 移項

10 方程式の解き方

- 方程式の性質をつかって、 $x = \bigcirc\bigcirc$ にする
- x に答えを代入して、左右が等しくなるか?確かめる
- 分数や小数は、何倍かしてなくしてから計算する

11 比例式

内側と外側をかける

12 方程式の利用

- ◆ 分からない数量を文字 x でおく。
- 数量を整理して、方程式を立てる。
- 方程式を解く。
- 解が方程式の答えになっているか?数量にあっているか?確認する。

平面図形

13 直線、角、移動

- 直線、線分、半直線、角
- 垂直と平行
- 図形の移動 (平行、回転、線対称、点対称)

14 基本の作図

- 垂直二等分線
- 角の二等分線
- 垂線

15 円

- 円の中心と半径、直径
- 弧、弦、おうぎ形
- 円の接線
- 円周と面積の公式
- おうぎ形の弧の長さ ℓ と面積の公式 S、 $S=\frac{1}{2}\ell r$

空間図形

16 空間図形

- 角錐と円錐
- 展開図
- 正多面体
- 回転体

17 直線と平面の位置関係

- 2 平面 (交わる、平行)
- 直線と平面 (交わる、平行、平面上)
- 2 直線 (交わる、平行、ねじれ)

18 投影図

19 表面積、体積

- 角柱、円柱の表面積、体積
- 角錐、円錐の表面積、体積
- 球の表面積、体積

データの活用

20 度数分布表とヒストグラム

- 度数分布表、累積度数、相対度数、累積相対度数
- ヒストグラムと度数折れ線
- 平均値、範囲、中央値 (メジアン)、最頻値 (モード)
- 確率とは、、、